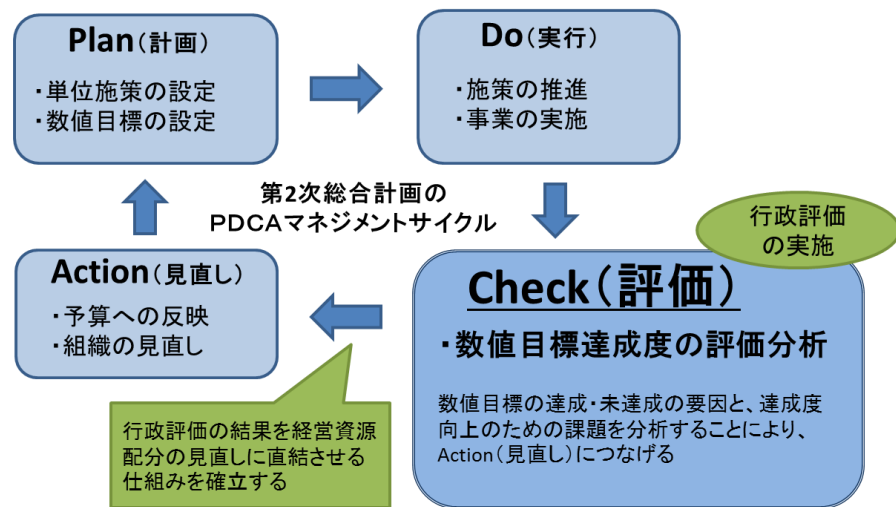


平成 29 年度行政評価（1 次評価）の概要

1 行政評価の目的・位置づけ

第 2 次唐津市総合計画に掲げたまちづくりの基本理念のもと、将来都市像の実現に向け、優先して実施すべき主要な施策を、基本計画で体系化している。

行政評価は、この基本計画に位置づけた各施策を着実に推進し、継続的な改善を図っていくためのチェック機能を担っており、数値目標達成度の評価分析等を通じて、次年度の予算や組織の見直しに活用することを目的とする。



2 評価の対象

第 2 次唐津市総合計画の基本計画における全 106 項目の単位施策

3 評価の方法

行政評価は、単位施策の各所管課による「1 次評価」と、外部委員による「2 次評価」で構成される。

1 次評価では、まず単位施策の所管課が、評価対象年度である平成 28 年度の施策実施状況等を「行政評価（単位施策評価）調書」に記載する。具体的には①数値目標達成度の把握、②単位施策推進にあたっての課題の整理（数値目標達成・未達成の要因分析を含む）、③単位施策を構成する各事業の次年度の方針確認を行う。

その後、調書の内容について企画部でヒアリングを実施し、所管課による評価が適切かどうかの確認を行う。ヒアリングの結果を踏まえて評価内容の見直し（調書の修正）を行い、1 次評価の確定となる。

- | | |
|---------------------|---------|
| (1) 所管課による行政評価調書の作成 | 5 月～6 月 |
| (2) 行政評価調書のとりまとめ | 7 月 |

- (3) 企画部によるヒアリング 8月
- (4) 行政評価調書の見直し（1次評価の確定） 9月～10月

なお、1次評価の結果は唐津市行政改革推進会議に報告したうえで、2次評価として、①単位施策推進にあたっての課題を適切に捉えているか、②単位施策を構成する各事業の次年度の方針が適切であるか、の2点について、委員の意見を求めることとしている。

4 1次評価の結果

(1) 数値目標の達成度

平成28年度における全指標の数値目標達成度の平均値は、26年度及び27年度の96.1%からやや改善し、96.8%であった。基本目標ごとの数値目標達成度の平均値は以下のとおり。

基本目標1 快適な生活と安全・安心のまちづくり	95.6% ↑ (94.5%)
基本目標2 全ての産業が調和して生き生き働けるまちづくり	115.0% ↑ (105.1%)
基本目標3 生涯を通じてここちよく暮らせるまちづくり	91.4% ↓ (92.4%)
基本目標4 生きる力に満ちた人をはぐくむまちづくり	102.2% ↑ (98.4%)
基本目標5 歴史と文化が輝く観光のまちづくり	87.1% ↓ (95.8%)
基本目標6 市民の力を最大限に引き出すまちづくり	81.6% ↓ (83.4%)

() 内は昨年度の平均値

単位施策ごとに設定した各指標（補助指標を含む）の数値目標達成度については、資料1-2「平成29年度行政評価（1次評価）結果」のとおり。

また、平成26年度以降の数値目標達成状況については、資料1-4「施策ごとの数値目標達成状況」により、基本施策及び単位施策の達成度をそれぞれグラフで示している。

(2) 単位施策推進にあたっての課題

数値目標の達成状況を踏まえ、各所管課が行政評価調書に整理した単位施策推進にあたっての課題及び行政評価ヒアリング時に確認した課題については、資料1-2「平成29年度行政評価（1次評価）結果」のとおり。

(3) 単位施策を構成する各事業の次年度の方針

単位施策を構成する全286事業のうち、次年度の方針として、「現状維持」が232件、「拡充」が24件、「縮小」が3件、見直しが8件、「完了」が19件となった。なお、単位施策を構成する各事業の内容については、資料1-3「(別冊)単位施策を構成する事業一覧」のとおり。